

2001年3月2日

平成13年度予算案衆院通過について（予定稿）

社団法人 経済同友会
代表幹事 小林陽太郎

1. 予算が無事成立する見通しがついたことを歓迎したい。景気の減速感が日増しに強まる現在、日本新生プラン等を新年度より速やかに実行することは、更なる景況感の悪化を防ぎ、今後のわが国の構造改革を進めていく上でも非常に重要である。
2. わが国が深刻な財政問題を抱えていることは周知の通りであり、公共事業や社会保障支出のあり方などは国会においてこそ徹底的な審議がなされるべきであると考えている。今回、それらの点について十分に国民に見える形での議論がなかったのを残念に思う。
3. 今後は予算関連法案などの重要法案の早期成立を望むと共に、現下の喫緊の課題である証券市場の活性化対策についても早急に具体的な道筋をつけるべきであると考えている。

以上